

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年8月10日

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3121 URL <https://www.mbkworld.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 高崎 正年
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO兼財務経理部長 (氏名) 小森 格人 (TEL) 03-6434-5540
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第1四半期 | 311 | △74.7 | △25 | — | △37 | — | △40 | — |
| 2022年3月期第1四半期 | 1,228 | 304.4 | 301 | — | 287 | — | 217 | — |

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △46百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 235百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | △1.39 | — |
| 2022年3月期第1四半期 | 7.80 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | 10,949 | 4,021 | 36.7 | 136.39 |
| 2022年3月期 | 10,847 | 4,127 | 38.0 | 139.96 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,021百万円 2022年3月期 4,127百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | — | — | 2.00 | 2.00 |
| 2023年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2023年3月期(予想) | — | — | — | 2.00 | 2.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,000 | △49.6 | 250 | △24.1 | 200 | △30.5 | 130 | △38.7 | 4.41 |
| 通期 | 2,750 | 1.1 | 500 | 49.2 | 360 | 64.4 | 230 | 255.2 | 7.80 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2023年3月期1Q | 29,489,890株 | 2022年3月期 | 29,489,890株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期1Q | 45株 | 2022年3月期 | 45株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2023年3月期1Q | 29,489,845株 | 2022年3月期1Q | 27,867,118株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・将来に関する記述等についてのご注意

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (四半期連結損益計算書関係) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症蔓延の長期化により、経済活動の抑制が継続される中、新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種が本格化し、景気は回復基調を維持する見込みでありました。しかしながら、新たな変異株による感染者の急拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻と対ロシアへの経済制裁、米国の利上げ、急激な円安により、先行きは未だ不透明な状況となっております。

当社グループの主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が軽微、かつ、金融緩和政策による低金利により、相対的に安定した利回りを得られる不動産投資へのニーズは高く、投資への需要は底堅い状況が続いております。一方、ホテル・レジャー市場は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、動向を十分に注意する状況となっております。

このような経済状況のもと、当第1四半期連結累計期間の当社グループは、賃貸用不動産を新規に取得したうえで、保有する収益用不動産物件売却の検討、業務提携による新たな収益源の確保、オペレーション事業の各拠点における収益向上のためのコスト削減等を進め、収益力の向上と安定化に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高が311百万円（前年同期比74.7%減）となりました。各段階利益については、営業損失25百万円（前年同期は営業利益301百万円）、経常損失37百万円（前年同期は経常利益287百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失40百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益217百万円）となりました。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りです。

(マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に国内外の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、当事業部門の収益の柱である賃貸用不動産から得られる賃貸収入が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けることなく、安定的に推移いたしました。しかしながら、前年同期の国内及び海外企業からの投資収益、収益用不動産の一部売却に対する収益が大きく影響した結果、前年同期に対し、売上高162百万円（前年同期比84.8%減）、セグメント利益30百万円（前年同期比92.0%減）となりました。

(オペレーション事業)

当社グループは、当社、株式会社ホテルシステム二十一（連結子会社）及び株式会社ケンテン（連結子会社）において、宿泊施設、ボウリング場、インターネットカフェ店舗及び服飾雑貨店の運営、並びに給食業務の受託を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、長期化する新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症ワクチンのブースター接種が進んだことにより行動制限が緩和され、各事業所全般の業績が持ち直しつつあります。その結果、前年同期に対し、売上高は156百万円（前年同期比8.1%減）、セグメント損失は15百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は10,949百万円で、前連結会計年度末に比べ102百万円増加しております。営業貸付金の増加600百万円、有形固定資産の増加390百万円、現金及び預金の減少673百万円が主な変動要因であります。

(負 債)

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は6,927百万円で、前連結会計年度末に比べ207百万円増加しております。長期借入金（1年以内を含む）の増加273百万円、その他流動負債の減少63百万円が主な変動要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は4,021百万円で、前連結会計年度末に比べ105百万円減少しております。配当金の支払58百万円、当四半期純損失40百万円による利益剰余金の減少99百万円が主な変動要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,056,551 | 383,475 |
| 受取手形及び売掛金 | 69,865 | 69,433 |
| 商品及び製品 | 1,665 | 1,801 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,644 | 5,262 |
| 営業貸付金 | 82,550 | 683,150 |
| その他 | 172,975 | 121,992 |
| 貸倒引当金 | △40,551 | △41,022 |
| 流動資産合計 | 1,348,700 | 1,224,092 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,695,842 | 4,810,605 |
| 土地 | 4,240,363 | 4,518,926 |
| その他（純額） | 79,339 | 76,311 |
| 減損損失累計額 | △143,734 | △143,734 |
| 有形固定資産合計 | 8,871,810 | 9,262,108 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 3,333 | 2,857 |
| その他 | 39,934 | 37,836 |
| 無形固定資産合計 | 43,267 | 40,693 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 186,064 | 178,564 |
| 敷金及び保証金 | 37,430 | 37,730 |
| その他 | 360,348 | 206,724 |
| 投資その他の資産合計 | 583,843 | 423,018 |
| 固定資産合計 | 9,498,921 | 9,725,821 |
| 資産合計 | 10,847,622 | 10,949,914 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 35,082 | 32,905 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 753,983 | 300,465 |
| 未払金 | 9,425 | 11,148 |
| 未払費用 | 35,932 | 36,745 |
| その他 | 91,001 | 27,872 |
| 流動負債合計 | 925,424 | 409,137 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,723,418 | 6,450,917 |
| 長期預り敷金保証金 | 44,639 | 44,512 |
| その他 | 26,847 | 23,368 |
| 固定負債合計 | 5,794,905 | 6,518,797 |
| 負債合計 | 6,720,330 | 6,927,935 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,190,167 | 3,190,167 |
| 資本剰余金 | 811,577 | 811,577 |
| 利益剰余金 | 122,221 | 22,243 |
| 自己株式 | △20 | △20 |
| 株主資本合計 | 4,123,946 | 4,023,968 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,499 | 298 |
| 為替換算調整勘定 | △2,153 | △2,288 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,346 | △1,989 |
| 純資産合計 | 4,127,292 | 4,021,978 |
| 負債純資産合計 | 10,847,622 | 10,949,914 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 1,228,435 | 311,067 |
| 売上原価 | 761,500 | 185,512 |
| 売上総利益 | 466,935 | 125,554 |
| 販売費及び一般管理費 | 165,499 | 151,080 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 301,435 | △25,525 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 20 | 5,027 |
| 為替差益 | 193 | 290 |
| 持分法による投資利益 | 7,991 | — |
| その他 | 4,925 | 12,028 |
| 営業外収益合計 | 13,131 | 17,347 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 25,100 | 25,678 |
| 支払手数料 | 2,057 | 3,779 |
| その他 | 9 | — |
| 営業外費用合計 | 27,167 | 29,458 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 287,399 | △37,636 |
| 特別利益 | | |
| 助成金収入 | 2,100 | — |
| その他 | 3 | — |
| 特別利益合計 | 2,103 | — |
| 特別損失 | | |
| 新型コロナウイルス感染症による損失 | 234 | — |
| 投資有価証券評価損 | 32,672 | — |
| 特別損失合計 | 32,907 | — |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 256,595 | △37,636 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 39,464 | 2,178 |
| 法人税等調整額 | △42 | 1,182 |
| 法人税等合計 | 39,421 | 3,361 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 217,173 | △40,997 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △95 | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 217,268 | △40,997 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 217,173 | △40,997 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,213 | △5,200 |
| 為替換算調整勘定 | — | △134 |
| その他の包括利益合計 | 18,213 | △5,335 |
| 四半期包括利益 | 235,387 | △46,333 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 235,482 | △46,333 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △95 | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

1. 新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

2. グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 助成金収入

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、雇用調整助成金等の特例措置の適用を受けたものであります。当該支給見込額を特別利益に計上しております。

※2 新型コロナウイルス感染症による損失

新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みとして、政府及び各自治体からの営業自粛要請や緊急事態宣言を受け、当社グループにおいて店舗などの臨時休業や営業時間の短縮を実施いたしました。

このため、店舗などにおいて発生したこれらの対応に起因する費用(減価償却費・地代家賃・人件費など)を特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注)1. | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2. |
|------------------------|--------------------|---------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | マーチャント・ バンキング事業 | オペレーション 事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,058,389 | 170,046 | 1,228,435 | — | 1,228,435 |
| セグメント間の内部売上高 または振替高 | 7,500 | — | 7,500 | △7,500 | — |
| 計 | 1,065,889 | 170,046 | 1,235,935 | △7,500 | 1,228,435 |
| セグメント利益又は損失(△) | 381,175 | △16,135 | 365,039 | △63,604 | 301,435 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△63,604千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注)1. | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2. |
|------------------------|--------------------|---------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | マーチャント・ バンキング事業 | オペレーション 事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 154,750 | 156,316 | 311,067 | — | 311,067 |
| セグメント間の内部売上高 または振替高 | 7,500 | — | 7,500 | △7,500 | — |
| 計 | 162,250 | 156,316 | 318,567 | △7,500 | 311,067 |
| セグメント利益又は損失(△) | 30,584 | △15,931 | 14,652 | △40,178 | △25,525 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△40,178千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2022年8月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式取得を行う理由

株主還元強化および資本効率の向上を図るため、自己株式の取得を行うものであります。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 260,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合0.88%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 65,000千円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2022年8月12日から2022年12月30日まで |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

(関連当事者からの株式取得による会社の買収)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な後発事象)に記載した「2. 関連当事者からの株式取得による会社の買収」について、2022年8月1日付で、その他の関係会社であるアートポートインベスト株式会社の100%子会社の株式会社娯楽TVとの間で、娯楽TVメディア・コンテンツ株式会社発行済株式の全てを譲り受け、完全子会社化いたしました。(娯楽TVメディア・コンテンツ株式会社は、2022年7月の会社設立時に、円谷メディア・コンテンツ株式会社から商号を変更)

1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称

娯楽TVメディア・コンテンツ株式会社

事業内容

キャラクターや出版物などのコンテンツ制作、販売、管理

② 企業結合を行う主な理由

現在、当社グループが取り組んでいる、メタバース空間を活用したNFTプラットフォーム「NFT LaFan」へのキャラクターグッズの提供など、相乗効果もはかり、当社グループとして、コンテンツ(映像やキャラクター、出版物)を中核に、アミューズメントビジネスを展開するため。

③ 企業結合日

2022年8月1日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得する議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得原価 10,000千円 取得対価 現金

3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

該当ありません。

(匿名組合出資契約による出資)

当社は、2022年8月9日に匿名組合出資契約を締結し、同日に匿名組合出資45,000千円の引受と出資払込を致しました。